

SHIMIN PHOTO

市民フォト

鹿嶋
鹿嶋

No. 78

H11.10.1

発行





わがまち自慢

●毎朝の楽しみ

通学輔導員を始めて四年目になります。もちろん交通安全第一、さらに、あいさつ運動にも力を入れています。

町内でも子どもたちが元氣よく挨拶をしているところを耳にするとうれしいですね。

●緑の一斗缶

町内一円に緑色に塗った一斗缶を取り付け、みんなでごみが落ちていたら拾って入れるようにしています。皆んなのマナーがよいのでたいへんきれいですよ。

●父母の会

この地域は、昔から住んでいる高齢の方が多く、子どもの数が減少してきています。

町内会活動も年配の力だけでは難しいことがありました。一年ほど前に皆いお父さんたちの「父母の会」を結成し、運動会や資源ごみの回収など運営もスムーズになり参加者も増えてきています。

父母の会の一員として、自分たちの活動を子どもたちに見せ、あたたかい鷹師の雰囲気伝えていきたいですね。



鷹師 三日
富ヶ原公磨呂さん

■鷹師上空から

中央に見えるのが鶴丸高校、右側に鹿児島高校。左右に通っているのはJR日豊本線。甲突川に架かる西田橋、平田橋、新上橋（写真左から）



3 【特集】町内会ワールド

クローズアップ

大久保重樹さん

14 ハロー鹿児島

堀川サオウニさん

16 カメラトビックス

18 学校探訪

黒神中学校

20 わたしの好きな場所

テディ金城さん

22 ふるさとの歴史探訪

城下町の整備

24 あなたのフォトサロン

小原洋海さん

26 よかタイム

中野尚子さん

27 かごしまの自然

寺山にて

28 市民ギャラリー

城西公民館

30 維新ふるさと館

「薩英戦争絵巻」

31 誌上「市営施設見学会」

市立図書館

●表紙写真について

「まだまだ！頑張れ頑張れ！」

今日はお待ちかねの地域の秋祭り。男の子も女の子も裸足で土俵の上を踏みめします。

「のこった、のこった」

みんなの熱い視線と歓声にこたえ、踏ん張る足にも力が入ります。

子どもたちは、休で友情を感じながら日々成長していきます。そして、地域の心になれながら大人になっていくのです。このような祭りを大切に、いつまでも続けていきたいものです。

特集

ワールド

町内会

今日、個性の時代といわれるなか、「他人にわずらわされたくない」という
自己中心的な生活を望む人々が増えている。
まるで、お互いに気にしない「透明な存在」であるかのようだ。
しかし、町内会で活動することは、透明な存在ではありえない。
地域とかがわり、人とかがわる。
その中にはいったい何があるのだろうか…。
あらためて町内会をのぞいてみた。

毎月の夜警活動

町内およそ三百カ所の街灯をチェックしたり、公園の治安や放置自転車を見回っています。年末には、子どもたちも拍子木を鳴らしながらいっしょに自分たちのまちを見て回ります。
安全なまちはこうして守り続けられているのです。

〈武町内会〉



生命や生活を守る

防災避難訓練

災害はいつ起こるか分かりません。いざという時に備えての訓練が大きな力を発揮します。
避難準備の呼びかけ、救出救護活動、非常食の炊飯。戸惑いながらもみんなで団結し、一つの心で結ばれる心強さを感じます。

〈玉里町内会〉



手助けする気持ち、人として…

高齢者世帯への訪問

三十年ほど前、老夫婦が誰にも気づかれずに折り重なるように亡くなっていました。——として地域で守ってあげられなかったのだらう。その思いから、亡くなった日・十三日を毎月、地域の「福祉推進の日」と決め、声掛け運動をしています。遠い親戚より近くの他人とよく言いますが、まさに地域の有り難さを感じる時です。



〈常盤町町内会〉

子どもたちは、
地域にふれながら成長し、
大人になる

納涼夏まつり

子どもたちに楽しんでもらいたい、いい思い出を地域でつづけてもらいたい。子どもたち手作りの灯籠の明かりが揺れる中、あいこ会と老人会で「我は海の子」「里の秋」の合唱もありました。あたたかいハーモニーとなって、夏の夜空に響きわたっていきます。

〈花野光ヶ丘町内会〉

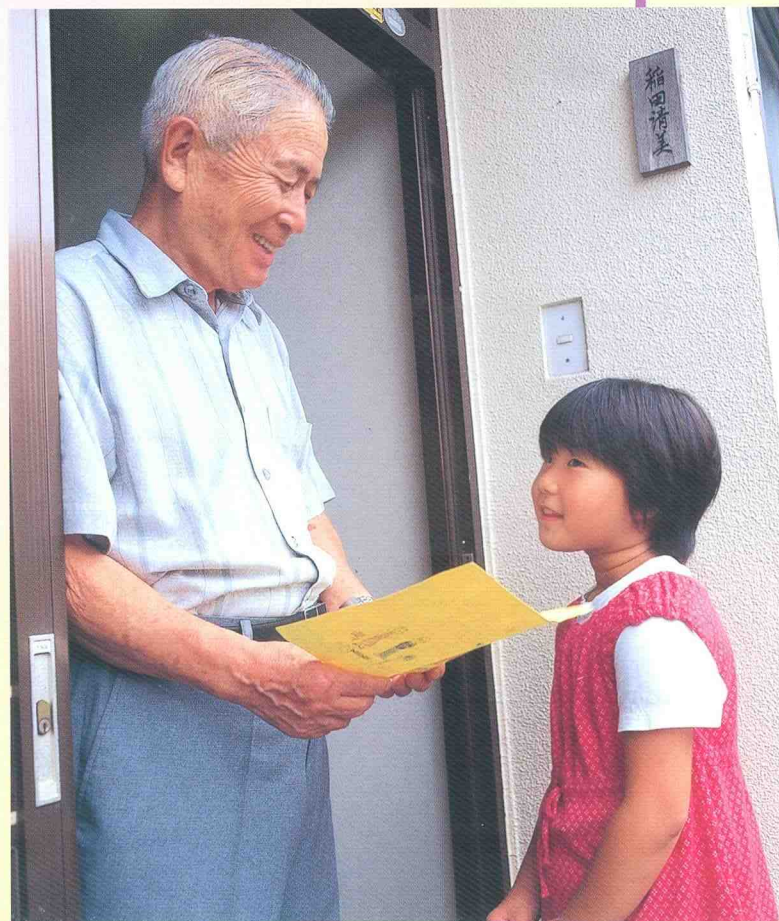


世代間交流は新たなエネルギーを生む

子どもたちからの敬老メッセージカード

「私は折り紙で遊ぶのが好きです。おじいちゃんたちが小さいころは、どんな遊びをしていましたか？」
「男の子と女の子の遊びは全然違っていて、「マ遊びが楽しかったな。」一枚のカードをきっかけに、また一つ世代を超えた友達の輪が広がりました。」

〈西坂元町町内会〉



寝たきりを防ぐ「ふれあい会」

年をとってから退屈しないまち、若い時からの顔なじみも集まる楽しいひとときにしよう。リズム体操や懐かしのメロデー、迷句遊びなど、地域の人が講師もしながら会を運営しています。
「最初は誘い出すことが肝心。お知らせくらいでは出席してもらえません。前日に電話して、当日の朝伺って用意してもらい、直前に迎えに行く。」と徹底ぶり。

あなたのその元気もらいます。私の元気差し上げます——

〈城山団地北部町内会〉





加入のおさそいのチラシ配布 ～会長から区長へ

最近アパートも増えてきて、町内会への加入率も思わしくありませんでした。そこで、昨年の11月ごろ初めて、役員等を通じて未加入世帯へ「町内会へ加入のおすすめ」を配布しました。単身42世帯、一般も42世帯が新たに加入し、予想以上の効果をあげました。

〈魚見町町内会〉

資源ごみ回収活動

町内の公民館に随時資源ごみを持ち込めるスペースをつくっています。年四回収しており、その収益は、市からの補助金とあわせて年間およそ二十万円。大きな収益になっています。住民の資源ごみに対する意識とマナーのおかげです。

〈田上台町町内会〉



毎月の役員会議

組織の運営で心掛けていることは、意思の疎通をいかにうまくするかです。ほぼ百パーセントの世帯が加入している町内会。「ホウレンソウ」つまり報告、連絡、相談の徹底、しかも「すぐやる」ことが大事。これの積み重ねが基本であり、信頼関係が築かれ、協力につながるのです。

〈聖徳寺台東町内会〉



町内会活動について

市長に聞く



赤崎義則鹿児島市長

町内会についての感想をお聞かせください。

町内会のみなさんには、日ごろから、町内の清掃や夏祭、敬老会など地域全体のことはもとより、子どもたちの健全育成、高齢社会における近隣のあたたかいふれあいなどに熱心に取り組んでいただいています。その地域に対する愛着の深さをいつもうれしく感じているところです。

本市には、現在六百四十一の町内会があり、市内の約七割の世帯が加入されています。まだまだ未加入の方が多いようですので、ぜひ一人でも多くの方々に町内会に加入していただき、一緒になって明るい地域づくりをすすめてほしいと思います。

町内会にはどのような役割があるのでしょうか？

町内会は、地域の環境整備や青少年の健全育成、防災対策など幅広い活動をする。ことと、地域のコミュニティづくりをすすめることが中心的な役割であります。「住みよいまち」はみんなの共通の思いです。まちを住みやすくするためには、身近なところからみんなの力でまちづく

これからのまちづくりで大事なことは何でしょうか？

まちづくりの主役は市民の皆さんです。行政と市民が手を取り合って、市民の皆さんが住んでいてよかったと思っていただけのまちづくりをすすめていきたいと思っています。

「こんにちは市長です」や「市長への手紙」などで、市民の皆さんの声を私自身が直接お聞きし市政に反映させるとともに、「まちづくり塾」・「まちづくり出前塾」などに多くの市民の皆さんに参加いただき、まちづくりに関する生の声をいただいているところです。

人と人とお互いにふれあい学ぼうということを原点に、鹿児島の素晴らしい文化、歴史、自然を守り育てることを大切にして、すべての人々の心が通い合うまちにしていきたいですね。



地域での防災訓練



町内会活動への市の助成制度

- ・町内会集会所建築等補助、資金融資
- ・ふるさとづくり運動推進事業補助
- ・地域ふれあい交流助成事業補助
- ・町内会広報活動推進事業補助
- ・防犯灯補助
- ・自主防災組織資機材整備事業補助
- ・自主防災組織活動助成
- ・町内会等降灰除去機購入費補助
- ・資源ごみ回収活動補助
- ・歩道緑地帯管理に対する奨励金
- ・公園管理に対する報奨金

このほかにも多くの便利な市の事業や制度があります。詳しくは、市民生活課 216-1204へ

市内には六四一の町内会がある。
町内会といっても、その世帯数や環境、
年齢層などまさに多種多様。
さらに、メンバーの数だけ
いろいろな生きざまが存在している。
「近隣」という共通の気持ちを出発点に、
人とかかわり、地域とかかわる。
その中こそ、
生きているという実感があるのではないだろうか。
人は皆、お互いに支え合って生きているのだから…。



東開ロフトスタジオ（東開町）にて撮影

「HOT LAVA」。
これが鹿児島県の若者の
起爆剤になる。



鹿児島県にも多くのアマチュアバンドがある。だけど、彼らの活動といえばライブが中心。だから、なかなか多くの人に広がっていかない。

そんな彼らの音楽を、一枚のCDにしたのが大久保重樹さん。「HOT LAVA」。その優しい笑顔の中に、「熱い溶岩」を秘めている。

ロスから鹿児島へ

大学卒業後、音楽の本場といわれるロサンゼルスで勉強しました。専門はドラム。そして、バンドの音の一つにまとめるレコーディングもマスターしました。

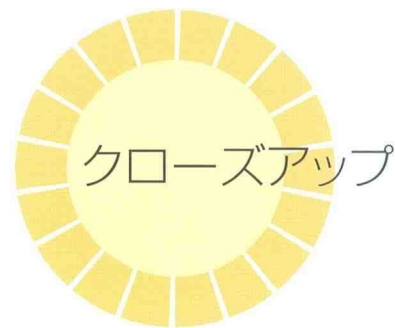
予定していた三年が過ぎ、日本へ帰ることに。音楽の仕事をするには、東京に住むのが断然有利なことはわかっていただけ……。

私には確信がありました。当時のアメリカはインターネットが急速に広まっていた時期。そして、日本でも近い将来、東京と地方の情報格差が縮まると。

鹿児島県には、南国の熱い空気と雄大な自然があふれている。創造的な仕事をするには最適な場所だと考えました。

「HOT LAVA」

鹿児島県に帰ってきて感じたのは、若者のおとなしさですね。もっと積極的にPRすれば、鹿児島の音楽のレベルの高さを多くの人に知ってもらえるのと思った。



大久保 重樹さん

レコーディングディレクター

PROFILE

昭和45年 鹿児島市に生まれる
平成2年 大学進学のため広島へ
平成6年 大学卒業後、アメリカ・ロサンゼルスへ
平成9年 帰鹿
平成11年 オリジナルCD「HOT LAVA」制作

そこで、彼らとリスナーとの間をうまく結べないものかと考えたのがCDの制作。CDがあればラジオなどでも取り上げやすく、インターネットを使えば全国、全世界に紹介することもできる。

オリジナルCD「HOT LAVA Sounds of Kagoshima」。

「LAVA」は溶岩の意。このタイトルは、鹿児島のシンボル桜島が、熱い溶岩を静かにせり上げ、ドカーンと爆発するさまを、鹿児島の若者のイメージに重ね合わせたものです。

ポップスあり、ロックあり、バラードありと、鹿児島の音楽シーンを代表する十の作品が収められているこのCD。これが起爆剤となって、彼らが桜島以上にメジャーになることを期待しています。

これから

鹿児島の若者をサポートするのも一つの楽しみです。でも、最大の目標は、自身がミュージシャンとして、そしてレコーディングディレクターとして、だれにも負けない、オリジナルの作品をつくらせていくことです。

現在、「HOT LAVA」第2弾を制作中。

そして、彼自身の活動も……。

「二年に三回は踊っています。こんなにたびたび着ることになるとは思いませんでした。」

「日本人は、何を喜ぶのでしょうか。」留学前、彼女が日本大使館に尋ねると「民族衣装がいいでしょう。」という返事が返ってきました。

役にたった民族衣装

着る機会があるんだろうかと思いつつも、バンコクで買いました。五年程前、タイの文化を紹介できる人を教えてほしいという問い合わせが鹿児島大学へ来た時、彼女が民族衣装を持っていたことから、白羽の矢が立ったのだそうです。

国際結婚なんです

上手な日本語で話すサオワニーさん。来鹿七年半になる彼女は、昨年の一月に鹿児島県の男性と結婚しました。

Hello
Kagoshima

ハロー 鹿児島

คาลิมา เสาวนีย์
●梶川 サオワニーさん
(タイ王国)

やさしく 素朴で おおらかな
鹿児島の人が 私は大好き

タイ語学校、水産学部分室

日本語検定1級の彼女は、その豊富な語学力を生かして、タイ語の先生にもなっています。

週一回程、彼女の研究室が「タイ語学校」へと早変わりして、研究の合間などに教えています。

「学ぼうとする意欲がありありと伝わってくるので、教える方も勉強になりますよ。」と、あくまで謙虚なサオワニーさん。

鹿児島とタイの架け橋

大学での研究は、貿易と水産物の市場調査。タイは海老の養殖が盛んなため、母国の水産物を世界に広めたいと意気込んでいて、将来は、それに関わる仕事をしたいと思っています。

「タイに帰りたくないですか？」思い切った質問してみたところ、「住む場所にはこだわっていません。結婚したから、鹿児島にいるのではなく、私がこの街を本当に好きだからです。自然も、そして人も（笑）。」

人なつっこい笑顔と温かい心が、鹿児島の風土に溶け込んでいるようです。サオワニーさんは、これからも多くの人に「アジアの架け橋」として接していくことでしょう。



もっと知りたい あの国この国

タイ王国

タイ = 独立の意

訪れる人を温かく迎える アジアの交流地

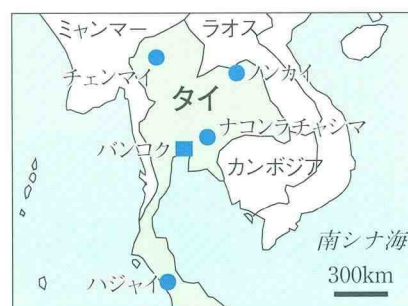
【あらまし】インドと中国のはぼ中間に位置。「シャム」の国名で知られてきた。面積は51万4千キロ（日本の約1.4倍）。人口は約6千万人（日本の約半分）で、首都はバンコク。

【宗教】ほとんどの国民が仏教徒。全国の寺院の数は、約3万。

【言語】公用語はタイ語。他にマレー語、中国語などがあるが、英語も広く通用する。

【交通】鉄道は、タイ国有鉄道が運営。また、チャオプラヤ川を中心に水上輸送が発達。

【スポーツ】ムエタイ（キックボクシング）、セバタクロ、サッカーなどが人気。ムエタイは、今日本で人気のある「K1」の基本習得のため、格闘家の卵たちが修業することでも有名。1998年にはバンコクアジア大会も開催。



仕事も、人生も、ボランティアも「研究中」

こんにちはタイ語 ～話せばかんたん～

- | | | | | | | |
|-----------|--------|--------|--------|---------|-------|------|
| สวัสดี | ○こんにちは | สวัสดี | ○サワディー | ญี่ปุ่น | ○日本 | イーブン |
| ขอบคุณ | ○ありがとう | ขอบคุณ | ○コーブクン | ทะเล | ○海 | タレー |
| ลาก่อน | ○さようなら | ลาก่อน | ○ラーゴーン | อร่อย | ○おいしい | アローイ |
| ไทย | ○タイ | ชอบ | ○好き | โชว์ | ○ショー | ブ |
| คาโกชิม่า | ○鹿児島 | | | | | |



8月21日～9月4日 長才まつり

今年で13回目。作家で脚本家の早坂暁さんの講演や、「健康で充実した日々を送るために」をテーマにしたパネルディスカッション、恒例のシルバーファッションショー、のど自慢、ゲートボール、グラウンドゴルフ大会、作品展、歌謡ショー、また新たに社交ダンスも行われました。



8月28日 鹿児島市保健所発足50周年記念

記念式典では、保健行政の運営に協力したとして、15団体、13個人に感謝状が贈られました。講演会では、タレントの宮尾すむさんが「人生に夢を、心に健康を」と題して講演し、約1,600人が耳を傾けました。



9月7日～13日 10周年記念鹿児島市工芸展

今回の入賞作品や、過去の入賞者による作品が展示されました。また、「21世紀につなぐ職人の技と心」というテーマで永六輔さんによる講演会が行われました。



9月5日 市立少年合唱隊定期演奏会

本市のかわいい文化交流大使として、合唱を通じて県内外はもとより国外の音楽祭でも活躍している合唱隊。その美しく清らかな歌声には、日ごろの練習の成果が発揮されていました。



7月10日 磯海水浴場海開き

5月に実施された水質調査では、最高基準の「適AA」。この日は最高気温29.3度、水温も24度と海水浴日和。小学生約200人が、準備体操の後、太鼓の音を合図にきらめく海に飛び込みました。



7月12日 ジュビロ磐田激励

市内で夏期キャンプ中のJリーグ・ジュビロ磐田が、12日から15日まで県立鴨池陸上競技場で公開練習を行いました。

赤崎義則鹿児島市長が、県内出身の前田浩二選手ら総勢約40人を激励し、鹿児島黒牛一頭分の極上質ロース肉や県産のミカンジュースをプレゼントしました。



7月18日～20日 ウォーターフロントフェスティバル



7月20日 かごしま夏祭



7月2日 鹿児島市フレンドシップパートナー委嘱式

鹿児島に留学で滞在したり、国際交流アドバイザーなどとして活躍した外国人に、帰国後も鹿児島市と母国との国際交流の担い手になっていただくのが目的。今回は4カ国7人、これまでに23カ国113人を委嘱し交流を続けています。



7月21日 消防庁舎・市民福祉プラザ(仮称)起工式

新しい消防本部とボランティア活動などの拠点。山下町の自治会館跡地に平成12年12月完成予定です。



8月2日 知的障害者ふれあいセンター(仮称)起工式

在宅の知的障害者やその家族、ボランティアらの集いの場。星ヶ峯二丁目に平成12年10月完成予定です。



7月22日 生涯学習プラザ・女性センター(仮称)起工式

生涯学習と男女共同参画社会を推進するための複合施設。荒田一丁目の樟南高校跡地に平成12年11月完成予定です。



昼休みはみんなで野球

小さな学校で大きな教育を ～1人で10人分がんばろう～

困ることとして、全員が「降灰」を一番に挙げています。通学も除去作業も大変なようです。運動会は、黒神地区の保育園・小学校・中学校に、地域の人々も参加して合同で行われます。先生や地域の人々のあたたかい目と伝統が、生徒の皆さんを育んでいます。

「先生とのマンツーマン授業は他にはないところだと思います。料理が好きなので料理人になりたいです。」
小野隆輝さん（1年）

「自然に囲まれていて静かなところがいい。好きなことは読書。今はクレヨン王国シリーズを読んでいます。錦江湾で野性のイルカがみたいな。」
池田紫織さん（1年）

「設備が整っていて、きれいな学校です。将来は船大工になりたい。今一番楽しいことは、野球です。」
神崎勇次郎さん（1年）

「ずっと受け継がれてきた朝の清掃が自慢。はまっていることは、懸賞です！今まで一番うれしかったのは、もののけ姫のTシャツかな。」
生徒会副会長・川原妙子さん（2年）

「行事にみんなが協力するのが良いところ。困るのは、何をするにも人数が足りないところです。野球が好きなので、少し残念です。」
川原隆大さん（3年）

「黒神中の良いところは、先生、生徒みんなが仲がいいところですね。好きなものは、家族で集めているキティちゃん。桜島は高齢者が多いので、将来は福祉関係の仕事につきたいです。」
生徒会長・田中詩織さん（3年）

生徒の皆さんに、スクールライフの感想や好きなこと、将来の夢などを語っていただきました。

黒神中全校生徒にインタビュー



朝の登校風景



先生と楽しく対話しながらの授業



給食や体育は全校生徒一緒



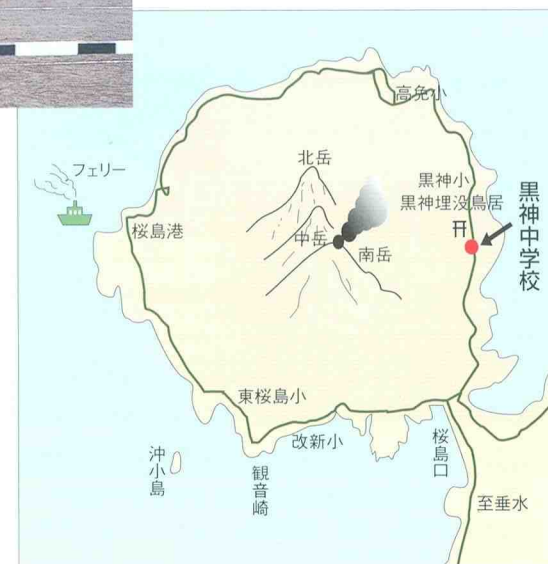
職員・生徒全員で行う毎朝の清掃は、代々引き継がれてきた伝統～埋没鳥居にて

学校探訪



黒神中学校

- 創立 昭和29年
- 生徒数 6人
(平成11年9月1日現在)



全員集合!!

人が集まればそこが好きな場所

ジャズピアノスタイリスト & プロデューサー
テディ 金城さん



わたしの好きな場所



鹿児島県を本拠地に全国で大活躍を続けるモダンジャズピアノリスト、テディ金城さん。

「音楽のすばらしさを生で伝えたい」という純粋な気持ち一つを胸に、大都会から人口数十人の島々まで、どこにでも出向き、心のふれあうコンサートをひらいている。

「音楽は平和の象徴であり、それは地方から興る」が持論のテディ金城さんに、鹿児島県での好きな場所をお伺いした。

桜島は音楽そのもの

音で鹿児島県のすばらしさを伝える——これが私の役割だと思っています。そして、群を抜いてすばらしいのが桜島です。

私は外国のミュージシャンや国内の友人達が来鹿したらまず桜島に案内します。また、桜島の有村地区によく魚釣りにでかけます。何回となく接している桜島。しかし、その表情が同じだったことは一度もない。

そんな神秘の桜島を今回私はジャズで表現しました。

朝、やわらかく明けていく桜島。いそいそと動き出す魚たち。マグマが地下で動きだす雄大さと厳しさ。そんな自然と共生する人々のたくましさ。

桜島は音楽そのものなのです。

音楽で自分を分かってもらおう

私は、鹿児島島の島々から北海道までの全国ツアーで、必ずこの「桜島」を演奏しています。すると、桜島に行ったことのない人も、「桜島って神秘に満ちた雄大なところですね。」って分かってくさる。

音楽には瞬時に自分の気持ち全てを分かってもらえるというすばらしさがあり、桜島も同じすばらしさを持っています。音楽と桜島を通じて、私自身もみなさんに分かってもらっている。だから、両方とも一生やめられないんです。

人が集まる。それが好きな場所

もう一つの私の好きな場所があります。人が集まるところです。

人が集まれば、文化が生まれる。文化は愛・平和など、人が本来持つすばらしい気持ちを揺り起こしてくれる。

私が今熱中しているのは、人を集めてみんなで音楽に参加するコンサートのお膳立ての場づくりです。世界のアーティストを集め、大自然の息吹を感じさせてくれる過疎の村に多くの観客を集める。そして、みんなが手拍子で参加する。

知らない人同士が集まって、芸術の話に花を咲かせる。いや、世間話でもいい。そこから何かが生まれてくる。鹿児島は、そんな雰囲気がある街であって欲しいですね。鹿児島の人々が持つ温かさは、音楽と同じ、世界共通なのだから…。



時には一人風景を眺めることも。



桜島の有村地区の漁港。この辺りによく魚釣りに来る。厳しい自然の中でたくましく生活する人々に心が洗われる。



いつも気さくなテディ金城さんの周りには人が…。ここが一番好きな場所だ。





明治初め頃の上町（尚古集成館蔵）



かつての上町と下町の境界付近（名山小横）



清滝川は市営駐車場に……

城下町の整備

文・田村 省三 Shozo Tamura

玉川大学文学部卒業。
国学院大学文学部・儀礼文化研究所を語る。
昭和60年、尚古集成館学芸員。
平成11年、尚古集成館館長。
現在、市文化財審議会副会長。
主な著書に、「尚古集成館」「島津日新公というは歌」など。

鹿児島城下絵図からみる

江戸時代の鹿児島のまち

鹿児島城を中心に、現在のまちの原形がつくられていった



「鹿児島城下絵図」（市立美術館蔵）

ふるさとと歴史探訪

鹿児島城下絵図にみる

江戸時代の天保十四年（一八四三）頃に描かれた「鹿児島城下絵図」が鹿児島市立美術館に所蔵されています。縦一七四センチ横二三五センチの大きなもので、六曲の屏風に表具され、当時の鹿児島町の細かく忠実に描かれているので、貴重な歴史資料として、これまでたびたび多くの著作物にも紹介され利用されてきました。

中央には城山を背に、十八代島津家久が築城した鹿児島城を据え、鹿児島城の城下が南北に広がっています。城の構築にあたっては当初家久の父十七代島津義弘が、東福寺城を戦闘用の城に、清水城を居館にと主張し、その理由のひとつとして、戦略上鹿児島城の位置があまりにも海に近いことをあげていますが、この絵図を見ると、今日と比べてなるほど海が目の前にせまっていたことがわかります。

甲突川の流れの変化

もうひとつ、築城の頃と天保年間とで大きく変化したことがありました。それは甲突川の流れです。甲突川は、江戸時代の初めの頃には現在よりずっと北の方を流れたといわれています。かつての川筋は、新照院から平之町・千石馬場のあたりを通り、海に注いでいたとか、清滝川がそのあとであるなどの説がありますが、明確なことはわかっていません。ただ、甲突川の流れを変えたことが、その後の鹿児島町の構成に大きな影響を与えたことは間違いないようです。

上町と下町

甲突川から北の鹿児島は大きく二つの町に分けられました。

この二つの町の境界は、お城の本丸の外濠が二の丸の石垣につきあたるあたりから、現在の地方検察庁・市役所本館と名山小学校・市役所別館の間の道路で、城下絵図には「是ヨリ北ヲ上と云、南ヲ下ト云」と記されています。そしてこれに参勤交代の主要道路が通っていた西田町を合わせて城下三町と呼ばれました。

城下三町の各町

そして天保の初め頃には、上町に地藏町（采町）・柳町・車町・和泉屋町・恵比須町・浜町の六町、下町に六日町・中町・呉服町・大黒町・金生町・築町・新町・今町・堀江町・船津町・納屋町・泉町・弁天町・汐見町・住吉町の十五町、西田町に上町・中町・下町の三町がありました。このうち下町の金生町は、もともと木屋町と呼ばれていましたが、たびたび城下が下町からの出火で火災に見舞われたことから、徳川光圀が木町を金町にしたことにならって文政十二年（一八二九）、島津重豪が、幕府の許可を得て改称したものです。

埋立て生まれた各町

また、下町の泉町・堀江町・弁天町・汐見町・住吉町などは、埋立によって設けられた町で、天保年間以降は、明治時代初期の埋立て生産町・易居町が置かれました。さらに、上町においては、弘化年間から嘉永年間（一八四四～一八五四）の埋立て小川町が置かれ、明治時代初期には稲荷川河口に向江町が置かれて、最終的には上町八町、下町十七町、西田町三町となりました。



PHOTO SALON

あなたのフォトサロン



「まつり」

写真 小原 洋海さん



ふかタイム

短歌

中野 尚子さん



軒先のシャツ・ブラウスが一齐に
肩を揺すりて歩み出す午後

ふかタイム 5つの質問

Q1 短歌を始めたきっかけは？

A1 長女の誕生です。何か表現したくなったんですね。投稿すると必ず批評をもらえて、時には、ほめてもらえる。それがとてもうれしくて、熱中してしまいました。もう十三年になります。

Q2 どのようなときに作るんですか？

A2 夜、落ちついた気分の時です。短歌の雑誌などを読んでいるとだんだんと短歌モードになってきます。三時間くらいは、すぐ経ってしまいますね。自分と向き合うことになる、大切な時間です。

Q3 短歌の良いところは？

A3 客観的に出来事を見られて、一つひとつを大事にできるような気がします。一種の生活記録でもありますので、その時の情景や思いが、映像や写真で見るとよりずっと鮮明に思い出されてくる感じがいいです。

短歌だけでなく、お子さんの通う小学校で読書会やブラックシアターを始めると、幅広い活動をされている中野さん。家庭・仕事・余暇、生き生きと過ごす秘訣は何にでも興味を持つみずみずしい感性でしょうか。

※ブラックシアター…蛍光塗料を使った暗所でのおはなし劇

Q4 これからどんな歌を作っていきたいですか？

A4 実はこれまでやってきて後悔していることが、一つあるんです。私には「恋の歌」がないんですね（笑い）。結婚前に詠んでいなかったのは残念ですが、これから挑戦したいですね。それと、歌ですので調への心地よい歌を詠みたいと思っています。

Q5 これから始めようかなという人に一言。

A5 まず一首作ってみたら。きつと三十一文字の制限のなかで表現することに、パズルをするような楽しさを感じるはずですよ。



▲手作りの歌集。さし絵はご主人が担当。



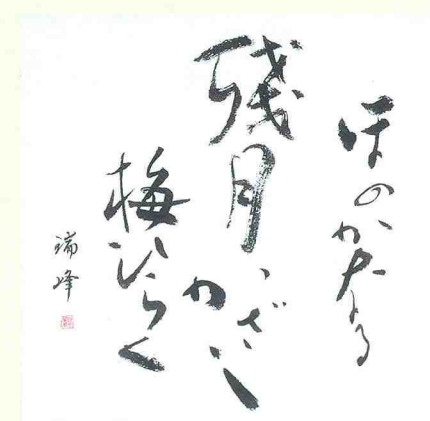
寺山にて

かごしまの
自然



夏陰書道は、「高齢者の書道入門」の受講生が集まって平成三年から活動を始めました。活動日は第二・第四金曜日。現在、有村正行先生の指導のもと「楽しい字を楽しく」書いています。

字や言葉、作者の持ち味を生かした、個性的な作品たち。全体のバランスや墨の濃淡、かすれの妙をご覧ください。



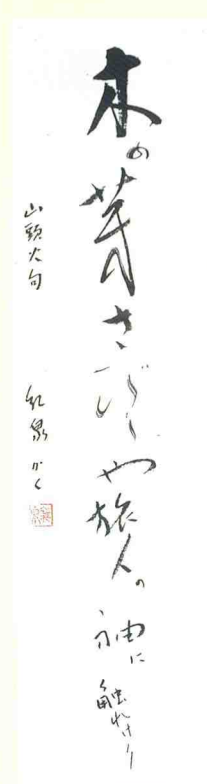
東 瑞子さん



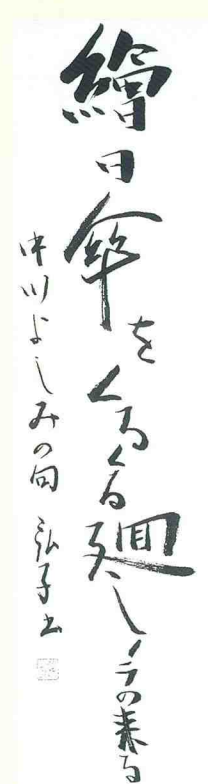
松本 タツエさん



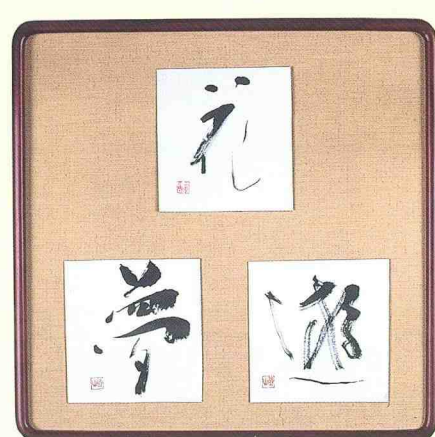
吉川 喜代子さん



迫水 温子さん



福永 ひろこさん



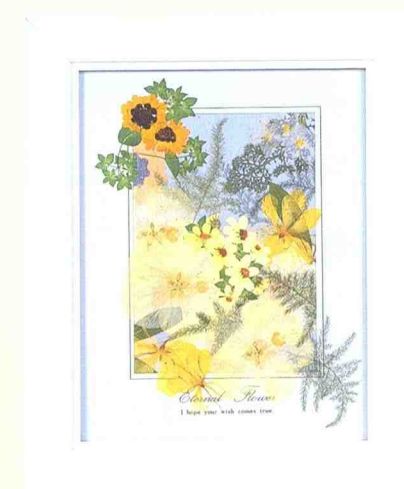
大内山 セツさん

市民ギャラリー

城西公民館自主学習グループ

昨年十月に発足。第二・第四水曜日に活動しています。指導の入来順子先生が「とても熱心」と感心されるように、押し花に熱中してあつと言う間に時間が過ぎていきます。「日常生活に彩りを加え、生活を豊かにしていますね」という押し花。

皆さんの華やいだ気持ちが作品に現れています。



「夏の朝」 水淵 京子さん



「フルムーン」 岩山 ヨシさん



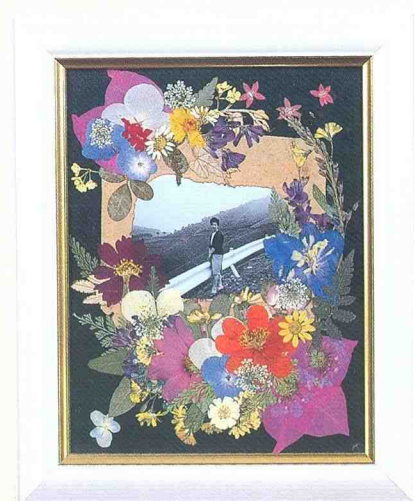
「花うどの夢」 森吉 峰子さん



「花トランプ」 渡辺 美智子さん



「メリークリスマス」 永井 二三子さん



「追憶の日」 川越 サチ子さん

「薩英戦争絵巻」



●薩英戦争 1863(文久3)年

1862年に起こった生麦事件の結果、英国・支那艦隊長官キューバー中将の率いる7隻の軍艦(旗艦ユーリアラス号)が鹿児島湾に進入してきました。薩摩藩ではイギリス艦隊との間に再度交渉をもちましたが不成立に終わり、結局7月2日、天保山砲台の砲撃で、他の9カ所の砲台もこれに続きました。

薩摩の砲は旧式で、前から弾を込める前装式で鉄丸弾、射程距離も1000メートルくらいでしたが、士気旺盛と、充分な訓練、その時の暴風雨に味方されよく戦いました。

イギリス艦の搭載砲は新式のアームストロング砲で、テストも兼ねた初めての使用でもありました。最大射程4500メートルほどで、後ろから弾を込める後装式であったため、薩摩の砲の10倍以上の速さの発射能力を持っていました。先のがった尖頭弾の砲弾は弾着が正確で、確実に作動する着発信管と強力な爆発力は、ほとんどの薩摩藩の砲台を破壊し、城下北部(上町方面)は火の海となりました。

この戦いで薩摩藩はイギリス海軍の威力を実戦によって確信することになりました。イギリスも薩摩藩の実力を認め、お互いに接近していくこととなります。

薩英戦争絵巻

この絵巻は、6月27日にイギリス艦が鹿児島湾に入港し、7月2日の激しい砲撃戦を展開し、7月4日に山川湾を去るまでの様子を戦争の記録として描写したものです。薩英戦争後まもなくのころに描かれており、墨書きの文字は脇田森左衛門の見聞、朱書きの文字はイギリスの新聞記事によって書かれています。

【絵巻(物)とは】

巻物に内容を述べる詞書と、それに対応する絵が交互に配列されるのが原則です。中国が起源ですが、日本において独自の様式を生み出し発展しました。

平安時代に入り、物語が生まれると、絵巻は物語絵として流行しました。『源氏物語絵巻』『伴大納言絵巻』などがその代表です。なかには、『鳥獣戯画』のように動植物を擬人化して生き生きと描いた異色の作品もみられます。

鎌倉時代には、仏教の布教活動が盛んになり、高僧伝や寺社縁起を絵巻にして、布教活動に用いられるようになりました。また、歌仙絵・戦記絵なども生まれ、絵巻史上最もはなやかな時代といえます。『一遍上人絵伝』『蒙古襲来絵詞』などがその例です。

室町時代には『御伽草子』に基づいた絵巻が数多く作られました。次第に形式化し衰退していきました。

(維新ふるさと館歴史解説員 丸野 泰)

市立図書館



ブラウジングコーナー

「車が駐車できるので毎週立ち寄っています。」(中島智弘さん)



利用者用端末機

「知りたい本が探しやすいですね」(池田恵さん)



AVリスニングルーム

「仕事に行く前の活力になっています」
(永井芳子さん)

開放的な館内で 自分だけの空間



おはなしのへや

「落ちついた中で本を読んであげられます」
(宝珠山陽子さん 浜西敏恵さん)

知りたいことを 一緒に探す

平成2年に開館して以来、生涯学習の場、情報提供の拠点として多くの皆さんが利用しています。

地域公民館図書室とのネットワークや移動図書館の巡回サービスも行い、さらに気軽に利用できる図書館を目指しています。

読書の秋です。市立図書館の新しい一面を発見してみませんか？

開館時間：9時30分～18時

休館日：火曜日(祝日のときは翌日)

電話：250-8500



図書館文化講座

文化講座などさまざまな催しがあります。



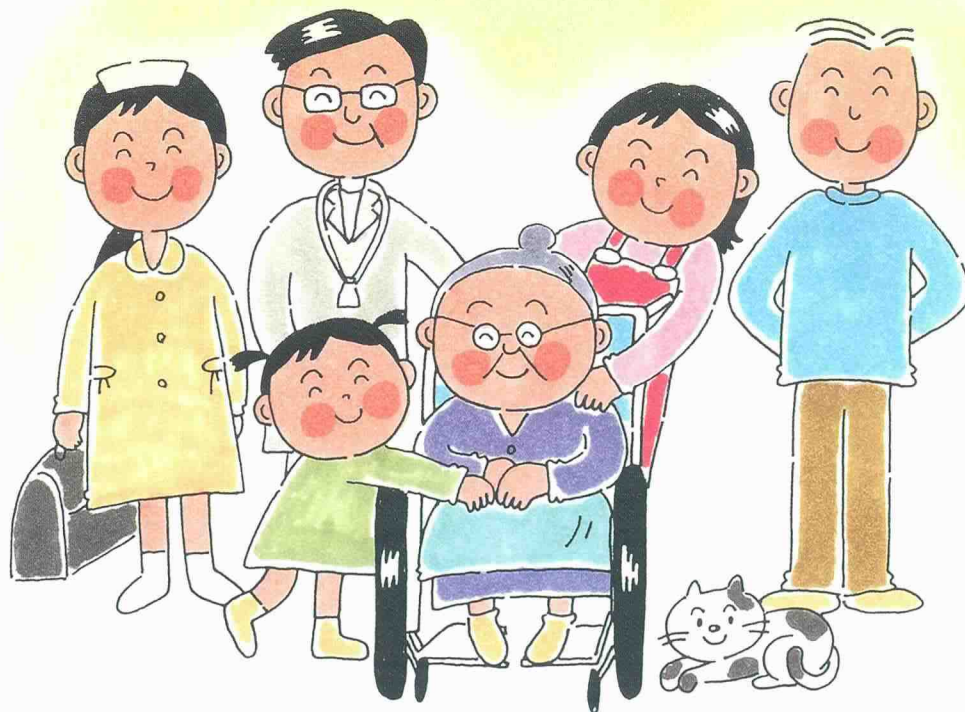
レファレンス(調査相談)

知りたいことを、いっしょに調べていきます。
気軽に声をかけてください。



平成12年4月1日から
介護保険制度が始まります

平成11年10月から

要介護認定の申請受け付けが始まりました!**●介護保険の被保険者(加入する人)**

本市に住所がある人で、

- ・第1号被保険者 65歳以上の人
- ・第2号被保険者 40歳以上65歳未満の人で、医療保険に加入している人

●介護サービスを利用できる人

被保険者で要介護・要支援状態になり、介護サービスが必要になった人(第2号被保険者は特定疾病による)

【要介護状態】

ねたきり、痴ほうなどで常に介護が必要なとき

**【要支援状態】**

家事や身支度などの日常生活に支援が必要なとき

**●介護サービスを利用するには**市に**要介護認定の申請**をし、要介護または要支援の認定を受けなければなりません。

本人または家族が申請してください。

※在宅介護支援センターや特別養護老人ホームなどに申請を代行してもらうこともできます。

●詳しくはお問い合わせください。

問い合わせ：介護保険準備室 216-1277